



天明九年正月廿四日
 和音抄書錄

特別
 イ 4
 3163
 53



天明九年正月十四日和歌御會始

山西喜言春

捲りわらうとくたはれかきも世をいせ春酒のうとすうふは春計作

院御製

そなたもろい海言うとてあつらふはみよものことほゆ

関白輔平

あまみくらちまのさにもくさくちんをるりせあまの海はあふ

左大臣藤原輝良

いつたれとねかこしあふるはむのさやうう四万よちか

右大臣藤原経親

あさすしんみさひ言ちよはとてゆそとてあつらふはあふ

太宰師典仁親王



藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

中務卿織仁親王

右大臣藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

彈正尹美親王

左大臣藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

兵部卿藤原親王

右大臣藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

正二位藤原實家

左大臣藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

從二位藤原頼安

右大臣藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

正二位藤原隆前



藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

正二位藤原愛親

藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

正二位藤原政房

藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

權大納言源信通

藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

左近衛大将藤原政熙

藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

右近衛大将藤原治方

藤原公方は公方を以て其の代りたるも其の代りたる也

權大納言藤原實起

はつとちの口うやむらの書にしてはきむけの清げのまこと

民部卿藤原高泰

かみかみそけ者ふゆさけくき清げの花乃木他あとちゆゆあひ

権大納言藤原平社

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

権大納言藤原實種

せはこもれいふまはるて朝のけたはむののうらむを計依

正二位藤原伊止元

こけちのいふいふのまはるせまをよそやゆゆをなぬるまふまふ

権大納言藤原愛徳

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

権大納言源通古

まはるのいふいふのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

権大納言藤原隆建

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

正二位藤原益房

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

正二位藤原隆初王

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

正二位藤原實理

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

正二位官原在家

あふちのまはるのいふいふもつたけしてまの古たけ

正二位藤原公明

藤原中納言藤原資家

正二位藤原資家

藤原中納言藤原資家

正二位藤原光光

藤原中納言藤原資家

正二位藤原光祖

藤原中納言藤原資家

權中納言藤原資家

藤原中納言藤原資家

左衛門督藤原資家

藤原中納言藤原資家

權中納言藤原忠平

藤原中納言藤原資家

權中納言藤原馬長

藤原中納言藤原資家

權中納言藤原公聰

藤原中納言藤原資家

梅察使源有美

藤原中納言藤原資家

正二位藤原基名

藤原中納言藤原資家

正二位官原胤長

藤原中納言藤原資家

從二位源重度

民分はもろくもくはるるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

大宰大貳藤原忠成

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

右衛門督藤原為朝

以事の根はなる事なりとてふ事候はるる事なり

参議右近衛權將源里嗣

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

左兵衛督藤原隆彰

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

参議左大臣藤原頼光

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

從二位藤原實繩

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

從二位藤原宗時

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

從二位藤原榮長

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

正三位藤原持典

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

右京大夫藤原尚質

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

正三位源通根

あはれなるをいふ事なりとてふ事候はるる事なり

正三位藤原紹季

正三位藤原基陳

正三位藤原基陳

右兵衛督藤原為家

右兵衛督藤原為家

大納言藤原金良

大納言藤原金良

修理大夫丹波頼尚

修理大夫丹波頼尚

宮内卿源俊資

宮内卿源俊資

正三位藤原量原

正三位藤原量原

正三位藤原基武

正三位藤原基武

正三位藤原貞季

正三位藤原貞季

正三位藤原兼光

正三位藤原兼光

彈正大臣藤原具康

彈正大臣藤原具康

侍從藤原推成

侍從藤原推成

正三位平時三早

正三位平時三早

右のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

從三位藤原季明

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

從三位源重平

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

從三位源家具

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

從三位藤原實秋

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

藏人須石兼藤原俊親

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

左近衛権將藤原公時

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

勘解由次官藤原光實

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

左近衛權中將藤原公理

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

左兵衛佐藤原實純

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

大膳大夫藤原為良

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

右近衛權中將藤原為訓

また毎のきもきしゆいひのまつけてロシヤに於ける事柄のゆゑ

侍從藤原為則

まろ流いかすしそちをひくまのいぬのけしき

藏合毒妻右衛門佐藤原相定

けねしものふりそねてまのいけい津代のまろそのい

藏権右中兼藤原貞定

ゆめけりつひ口歌もくろくはたそまろいけい津代のまろその歌

侍従藤原資重

いりいそあはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

深仁

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

尊真

のいりち歌もろあひのそ歌もけしき

真仁

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

久松

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

三浦のよせ

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

哲のよせ

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

権よせ

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

侍従のよせ

あはれむの朝日歌もろあひのそ歌もけしき

新のよせ

右大将信通

権大納言言實種

権大納言言實種

正二位藤原伊光

権大納言藤原愛徳

権大納言藤原愛徳

権大納言経逸

正二位源有美

正二位藤原益房

正二位隆望

正二位源有美

正二位藤原益房

正二位隆望

正二位源有美

正二位藤原益房

正二位公明

正二位藤原益房

民部卿為基

正二位藤原資枝

正二位藤原資枝

正二位藤原資枝

正二位藤原資枝

正二位藤原資枝

正二位藤原紀光

正二位藤原紀光

正二位通古

正二位藤原光祖

正二位藤原光祖

権中納言藤原資雄

権中納言藤原資雄

権中納言為三早

権中納言為三早

権中納言重嗣

権中納言重嗣

権中納言延季子

権中納言延季子

権中納言頼源

権中納言頼源

正三位藤原胤長

正三位藤原胤長

正二位源重度

正二位源重度

太宰大貳忠成

太宰大貳忠成

從二位藤原實繩

從二位藤原實繩

從二位藤原實繩

女納言平行宣

春秋のむすねに... 女納言の宣

彈正女御藤原祥元

愛媛の... 藤原祥元

女納言官原為徳

女納言... 官原為徳

左近権中将藤原實元

左近権中... 藤原實元

左兵衛佐藤原實純

左兵衛佐... 藤原實純

右権女将公翰

右権女将... 公翰

民部大輔源經仲

民部大輔... 源經仲

侍従為則

侍従... 為則

桑門同禪

桑門同禪... 桑門同禪

藏権守藤原藤原實定

藏権守... 藤原實定

藏左女辨藤原均光

藏左女辨... 藤原均光

勘解由次官藤原延元

勘解由次官... 藤原延元

侍従藤原資重

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

刑部藤原公祐

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

因幡守泰元敷

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

出雲守藤原國房

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

林右寺言

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

靈鑑寺言

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

春宮

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

宰相典侍

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

新内侍

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

侍従

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

河内

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

小左道

あまのついでにまはれはのりおとすあまのついでにまはれはのりおとす

後唐の事行の事よはるはるをたてまつる事とていふ事いふ事あり

啓代

讀師 菅原前納言

講師 胤定

發声 右衛門督

題者 冷泉中納言

奉行 祥光

寛政三年正月十四日和歌御會始

禁中佳趣

世よりふかたねまふ家もわたりては御にちかふ代をまた御は女

閑白輔平

例ありしゆきふきふき御事之御行の事十年後よりとてとて御事

一条 左大臣藤原道良

くらぬのり花のさかふふいふいふとやまよしののちうきい高里

閑院 太宰師典に親王

後唐の事行の事よはるはるをたてまつる事とていふ事いふ事あり

右柄川 中務卿織仁親王

例ありしゆきふきふき御事之御行の事十年後よりとてとて御事

閑院 彈正尹美に親王

正二位藤原隆房

伏見
兵部卿并頼親王

正三位藤原隆家

唐橋司
内大臣藤原政胤

正四位上藤原隆基

西園寺
從二位藤原實季子

正五位上藤原隆成

兼五位
從二位藤原頼安

正六位上藤原隆光

油器
正二位藤原隆前

正七位上藤原隆盛

中山
正二位藤原愛親

正八位上藤原隆信

万里小路
正二位藤原政房

正九位上藤原隆基

久我
右近衛大将源信通

正十位上藤原隆家

二条
左近衛大将藤原公春

正十一位上藤原隆成

正親町
正二位藤原公明

正十二位上藤原隆盛

徳大寺
権大納言藤原實祖

正十三位上藤原隆基

今出川
権大納言藤原實種

そのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

化山院

権大納言藤原経徳

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

勸修寺

権大納言藤原経徳

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

清閑寺

正二位藤原益房

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

梅司

正二位藤原隆望

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

橋本

正二位藤原實理

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

唐橋

正二位菅原在家

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

冷泉

民部卿藤原為泰

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

日野

正二位藤原資枝

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

栢原

正二位藤原紀光

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

中亮

正二位源通古

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

鳥丸

正二位藤原光祖

はるるのあはれなることごとく古に代りてはるるをたつとす

武鳥尾

正二位藤原隆建

依りておきよし... 日野

権中納言藤原資矩

おきよし... 中山

左衛門督藤原忠平

おきよし... 持明院

権中納言藤原宗時

おきよし... 甘泉寺

梅系侍藤原為長

おきよし... 冷泉

権中納言藤原為章

おきよし... 渡田

権中納言源重嗣

入りておきよし... 御小路

権中納言藤原公聰

おきよし... 御小路

権中納言藤原隆政

九中納言... 二重室

権中納言藤原頼潔

諸君入り... 御小路

正二位官原胤長

おきよし... 大原

正二位源重度

九中納言... 大無邊

太宰大貳藤原忠成

中世の... 御座始

...

...

...

...

...

...

御製禰師内大臣

御製禰師冷泉中納言

禰師 花院大納言

發声 新中納言

奉行 資治

講師 良顕判官

題者 民部卿

寛政三年二月八日御當座始

...

竹上長馬

鳥長

...

...

資治

...

...

...

...

花之盛

資治

...

池田の

威仁

かけらつと此の心もさるるにゆかりのめがきつと

ねと藤

雅威

いそぎとねとねよの夜うら花もさるるふしけて

新樹家

高割

うはらふとこもせめてお家にあのこもさるるほのね

星崎

實理

夕内の上もさるるの甘きまつたあつとほのつれ

山崎

まじりしむとねとふに海一とつらもさるる秋と

菊元

愛親

あやふとねとねとねとねとねとねとねとねと

まおの

輝良

あはれとねとねとねとねとねとねとねと

乃和来

は通

あはれとねとねとねとねとねとねとねと

浦秋

典仁

あはれとねとねとねとねとねとねとねと

有秋友

政房

あはれとねとねとねとねとねとねとねと

藤兼旬

高剛

あはれとねとねとねとねとねとねとねと

山紫

通根

あはれとねとねとねとねとねとねとねと

計時書

経途

~~~~~  
河子方  
流定

~~~~~  
治吏官
知字

~~~~~  
言七意  
實秋

~~~~~  
安秋意
持書

~~~~~  
忠秋意  
養仁

~~~~~  
~~~~~

後約意

忠平

~~~~~  
之秋意

~~~~~  
秋秋意  
秋秋意  
秋秋意

~~~~~  
情秋意
院御利長

~~~~~  
秋秋意  
秋秋意

~~~~~  
推吏官
良顯

~~~~~  
~~~~~


時由陸路

其書

~~~~~

浦清

資

~~~~~

音

通

~~~~~

也

曲

~~~~~

弊

屋

~~~~~

遊

徑

~~~~~

後

通

~~~~~

教

賦

~~~~~

相

務

~~~~~

行

流

~~~~~

年

修

~~~~~

素

資

~~~~~

能

信

新神代文

伊文

そくくわんこくしんのかくに百音抄の巻をけりてそくくわんこくしん

寛政十一年正月十八日 仙洞 和歌御會始

霞遠山衣

まろやれぬ物けしよの遠むにかれぬころきよきものや

關白政熙

五保姫のころのころのりゆみとてあよちむらものよ

右大臣藤原忠良

よまのあよあのころきよきんかたぬく日むけくく遠のあや

中務卿織仁親王

むれもくわんこくしんのかくに百音抄の巻をけりてそくくわんこくしん

彈正平美に親王

あやまのころのころのりゆみとてあよちむらものよ

兵部卿邦頼親王

正二位上 藤原経遠

上野太子貞敬親王

正二位上 藤原資光

從二位藤原實家

正二位藤原實祖

從二位藤原資枝

從二位藤原政房

正二位藤原隆前

正二位藤原公明

權大納言藤原資光

正二位藤原伊元

正二位藤原経遠

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

正二位藤原篤長

権大納言藤原頼熙

さゆ姫のまゝのうらなひもまじふてまゝのうらなひのむくのまけに

按察使源重嗣

春のほろもれにちのひのまてゆいもまゝの姫のまゝのうらなひ

権大納言藤原俊親

うらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

正二位藤原為春

佐保姫のまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

正二位官原胤長

佐中姫のまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

正二位藤原光祖

佐やうのまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

正二位藤原隆建

佐保姫のまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

正二位藤原忠尹

まねのまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

民部卿藤原雅成

春のまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

権中納言源通根

佐中姫のまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

権中納言藤原和定

佐やうのまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

権中納言藤原全吉

まゝのまゝのうらなひのまゝのうらなひのまゝのうらなひ

権中納言藤原胤足

春まゝの...の...の...の...の...

正二位藤原為章

ゆい...の...の...の...の...

從二位藤原足福

ま...の...の...の...の...

右兵衛督藤原為教

言...の...の...の...の...

宮内御源後資

ま...の...の...の...の...

右衛門督平時三平

ま...の...の...の...の...

参議左近衛權中將藤原宗元

ち...の...の...の...の...

從二位藤原持典三

ゆ...の...の...の...の...

從二位藤原尚資

ま...の...の...の...の...

從二位藤原基陳

ら...の...の...の...の...

從二位藤原美富

な...の...の...の...の...

從二位藤原量原

な...の...の...の...の...

從三位藤原為則

~~~~~

藏人頭左大將藤原均光

~~~~~

藏頭左大將兼中宮亮藤原賴壽

~~~~~

左近衛權中將源通右

~~~~~

右近衛權女將藤原雅元

~~~~~

藏右中將藤原資立重

~~~~~

藏左將兼左衛門權佐藤原長

~~~~~

藏権右中將藤原延元

~~~~~

刑部大輔藤原公祐

~~~~~

深仁

~~~~~

尊真

~~~~~

真仁

~~~~~


盈に

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

恭宮御方

いふもたふしむるもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

二房君御方

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

達君御方

いふもたふしむるもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

大業

春のさるのけりてて折始のさるの神のちかたのくさ

行守御方

朝のさるのけりてて折始のさるの神のちかたのくさ

あきら

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

あきら

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

あきら

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

あきら

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

あきら

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

あきら

あはれなるにむねはなほいへるもつらさのちかたのくさ

三木氏

此書の著者たるは三木氏に於て其の著る

小書

此書の著るは三木氏に於て其の著る

會館

此書の著るは三木氏に於て其の著る

三木

此書の著るは三木氏に於て其の著る

下

此書は三木氏の著るに於て其の著る

讀師

梅谷大納言

講師

延光

發聲

民部卿

題者

冷泉大納言

奉行

為衰

中務卿織仁親王

伊弉諾尊之孫

淨正尹美仁親王

攝津守美仁親王

共部卿邦賴親王

折戸守邦賴親王

上野太子貞敬親王

上野守貞敬親王

從二位藤原實季

藤原實季

内大臣藤原實種

藤原實種

正二位藤原實成

藤原實成

正二位藤原實祖

藤原實祖

從二位藤原資枝

藤原資枝

從二位藤原政房

藤原政房

正二位藤原隆前

藤原隆前

正二位藤原安親

藤原安親

正二位藤原公明

正二位藤原公明

正二位藤原伊光

正二位藤原伊光

權大納言藤原安徳

權大納言藤原安徳

權大納言源前光

權大納言源前光

權大納言藤原資經

權大納言藤原資經

正二位藤原經遠

正二位藤原經遠

正二位藤原為長

正二位藤原為長

權大納言藤原頼興

權大納言藤原頼興

權大納言源重嗣

權大納言源重嗣

權大納言藤原俊親

權大納言藤原俊親

正二位藤原為泰

正二位藤原為泰

正二位藤原胤長

正二位藤原胤長

正二位藤原光祖

正二位藤原光祖

正二位藤原隆建

正二位藤原隆建

正二位藤原忠尹

正二位藤原忠尹

左衛門督藤原隆師

左衛門督藤原隆師

民部卿藤原推成

民部卿藤原推成

和久

和久

権中納言源通根

権中納言源通根

権中納言藤原全理

権中納言藤原全理

中宮権大夫藤原公迪

中宮権大夫藤原公迪

権中納言藤原和足

権中納言藤原和足

権中納言藤原公事

権中納言藤原公事

権中納言藤原胤足

権中納言藤原胤足

正二位藤原為三早

藤原為三早

從二位藤原定福

藤原定福

右兵衛督藤原為教

藤原為教

宮内卿源後資入

源後資入

參議藤原忠三郎

藤原忠三郎

右衛門督平時三早

平時三早

參議左近衛權中將藤原光元

藤原光元

參議右近衛權中將藤原忠賴

藤原忠賴

從二位藤原持典三

藤原持典

從二位藤原尚資入

藤原尚資

從二位藤原基正陣

藤原基正

從二位藤原謙光

藤原謙光

從二位藤原昌原

正三位藤原紹李

正三位菅原在然

從三位藤原公理

彈正大弼藤原宣康

刑部卿源重尹

九守の者

正三位藤原実秋

修理權左藤原光実

式部大輔官原為徳

右京大夫藤原祥光

左京大夫平行宣

正三位藤原隆禮

侍從藤原為訓

正三位藤原和資

從三位藤原為良

從三位藤原為則

藏頭左中辨藤原均光

藏頭左中辨藤原賴壽

左近衛權中將源通和

左近衛權女將藤原美勳

侍從源通理

右近衛權女將藤原推光

藏右中辨藤原資重

藏左中辨左近衛權中中權金藤國長

侍從藤原為訓

正三位藤原和資

從三位藤原為良

從三位藤原為則

藏頭左中辨藤原均光

藏頭左中辨藤原賴壽

左近衛權中將源通和

左近衛權女將藤原美勳

侍從源通理

右近衛權女將藤原推光

藏右中辨藤原資重

藏左中辨左近衛權中中權金藤國長

藏権右中辨藤原延光

源氏物語の系傳の序

右少辨藤原明光

源氏物語の系傳の序

侍從藤原資安

源氏物語の系傳の序

刑部大輔藤原公祐

源氏物語の系傳の序

從五位上藤原公隆

源氏物語の系傳の序

深仁

源氏物語の系傳の序

尊真

源氏物語の系傳の序

真仁

源氏物語の系傳の序

盈仁

源氏物語の系傳の序

光仁

源氏物語の系傳の序

権中納言四侍

源氏物語の系傳の序

新編桐の系傳

源氏物語の系傳の序

辨別

...

...

...

...

...

讀師 坊城大納言

講師 頼朝朝臣

發声 宮内卿

願者奉行 為三章

寛政十一年正月在六日當座御會

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

寄神代

邦頼

社庫のたぐいともきまらぬをうたへて世に傳へ

講師 安光

題者 民部卿

奉行 忠平

寫本春

院御製

寫本春のほつとほつとまきまきとほつとほつとほつとほつと

春 雪

閑白

かひもあつとほつとほつとほつとほつとほつとほつとほつとほつと

柳 花

民部卿

系す一ちふればとけかう一ていふもいふもいふもいふもいふも

柳 花

掃司型大納言

能くもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

酒 肴 肉

中務卿言

初めいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

藤つ不

意地大由止

冷中納言

外ふの書はとくくさうにのり
くたつた

美に

あはれおぼしき御心遣ひに御座りませう

1655

春日好

民部卿

若草のあはれに御座りませう
すくに芳ねの朝古しかり

右春

あはれおぼしき御心遣ひに御座りませう

巻のつら

安積法

冷中納言

あはれおぼしき御心遣ひに御座りませう
くたつた

右春

あはれおぼしき御心遣ひに御座りませう

藤つ不

意地大由止

あはれおぼしき御心遣ひに御座りませう
くたつた

右春

あはれおぼしき御心遣ひに御座りませう

左つ不

逢坂関

冷中納言

~~~~~

為泰

~~~~~

if
on
ono

三付石

民部卿

~~~~~

為泰

~~~~~

朝陽の石

波戸浦

民部卿

~~~~~

為枝

~~~~~

右

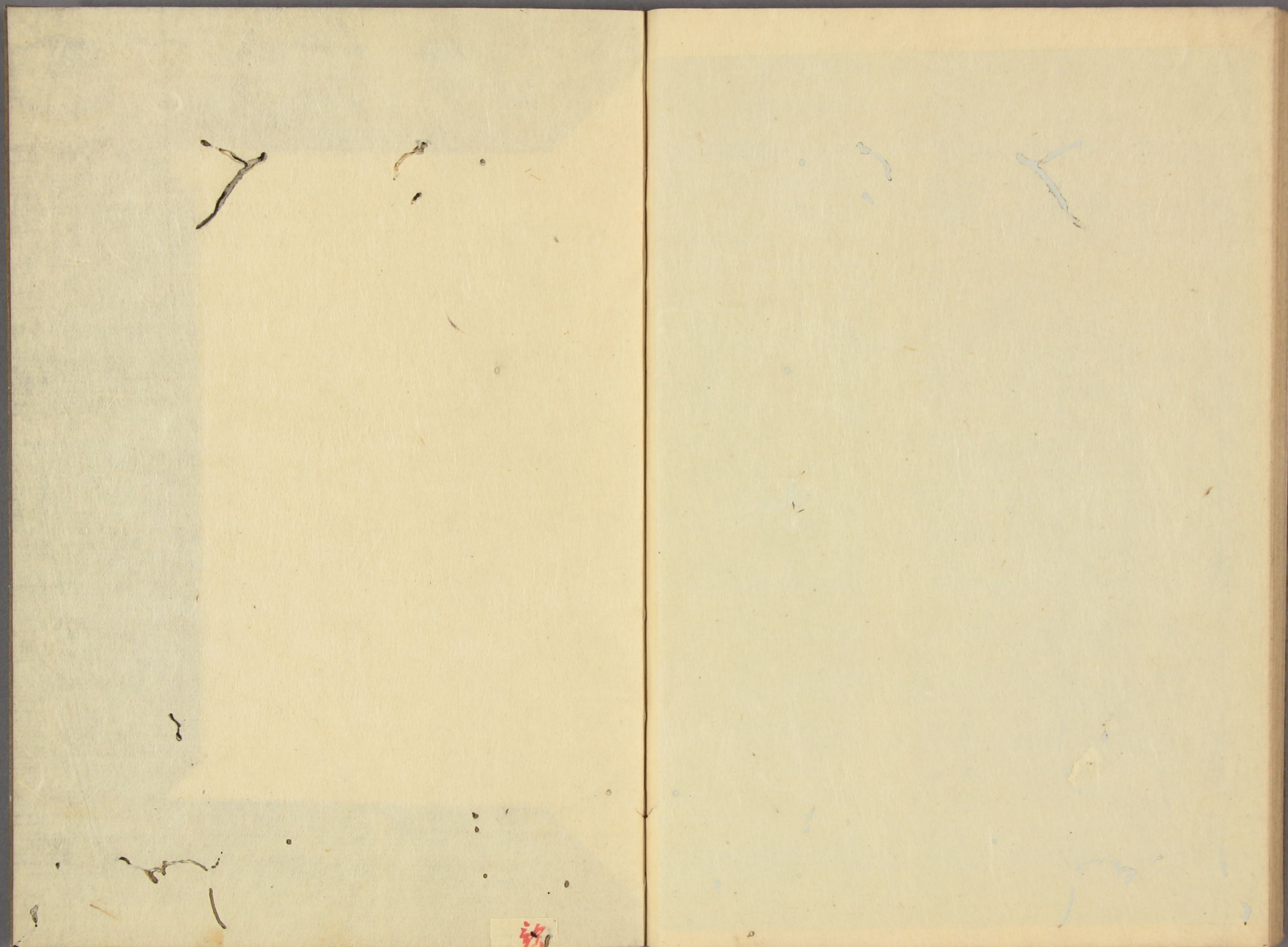
女見里

右衛門督

~~~~~

為枝

~~~~~

Y

;

;

Y

;

紅

